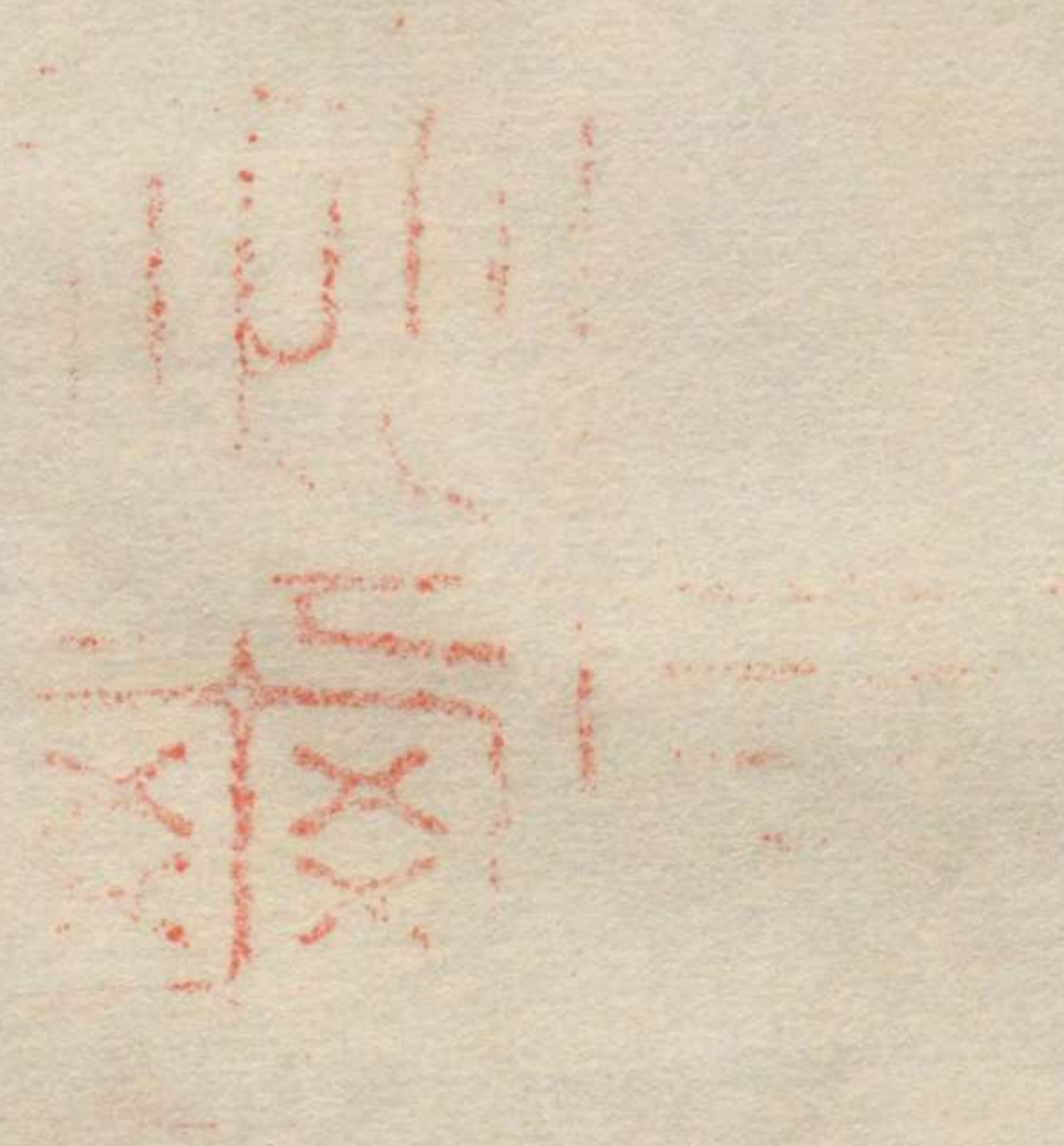
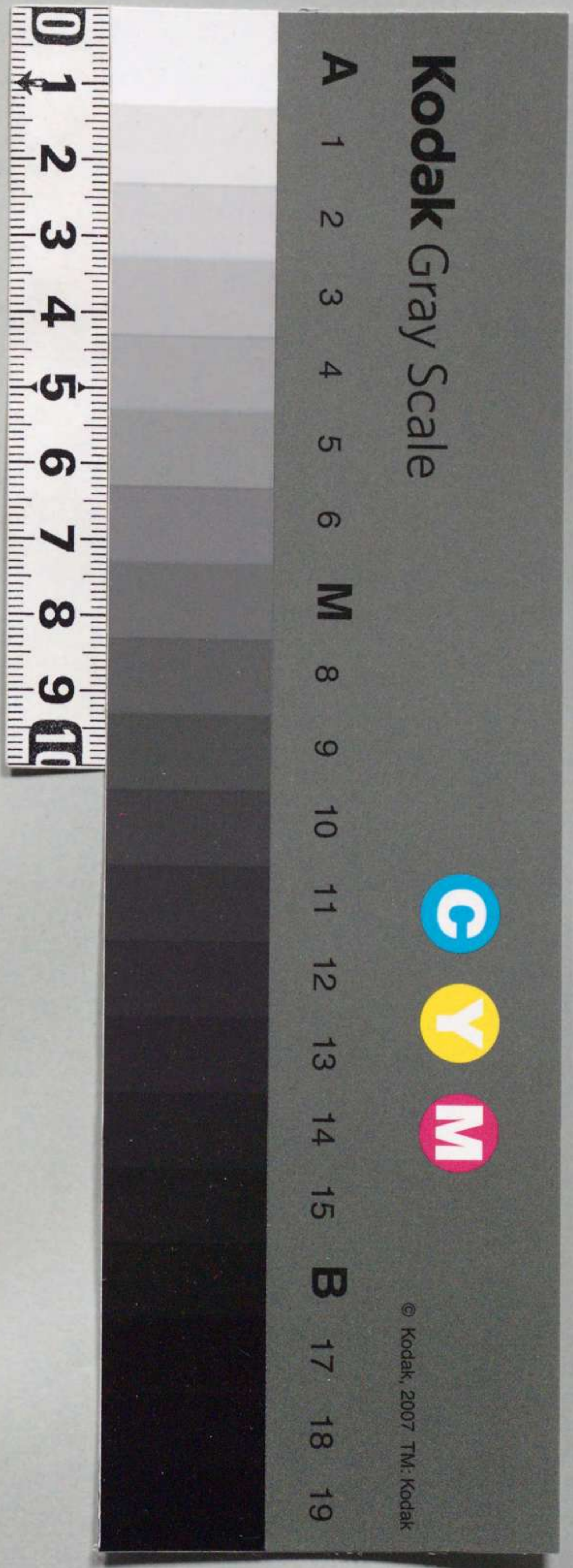


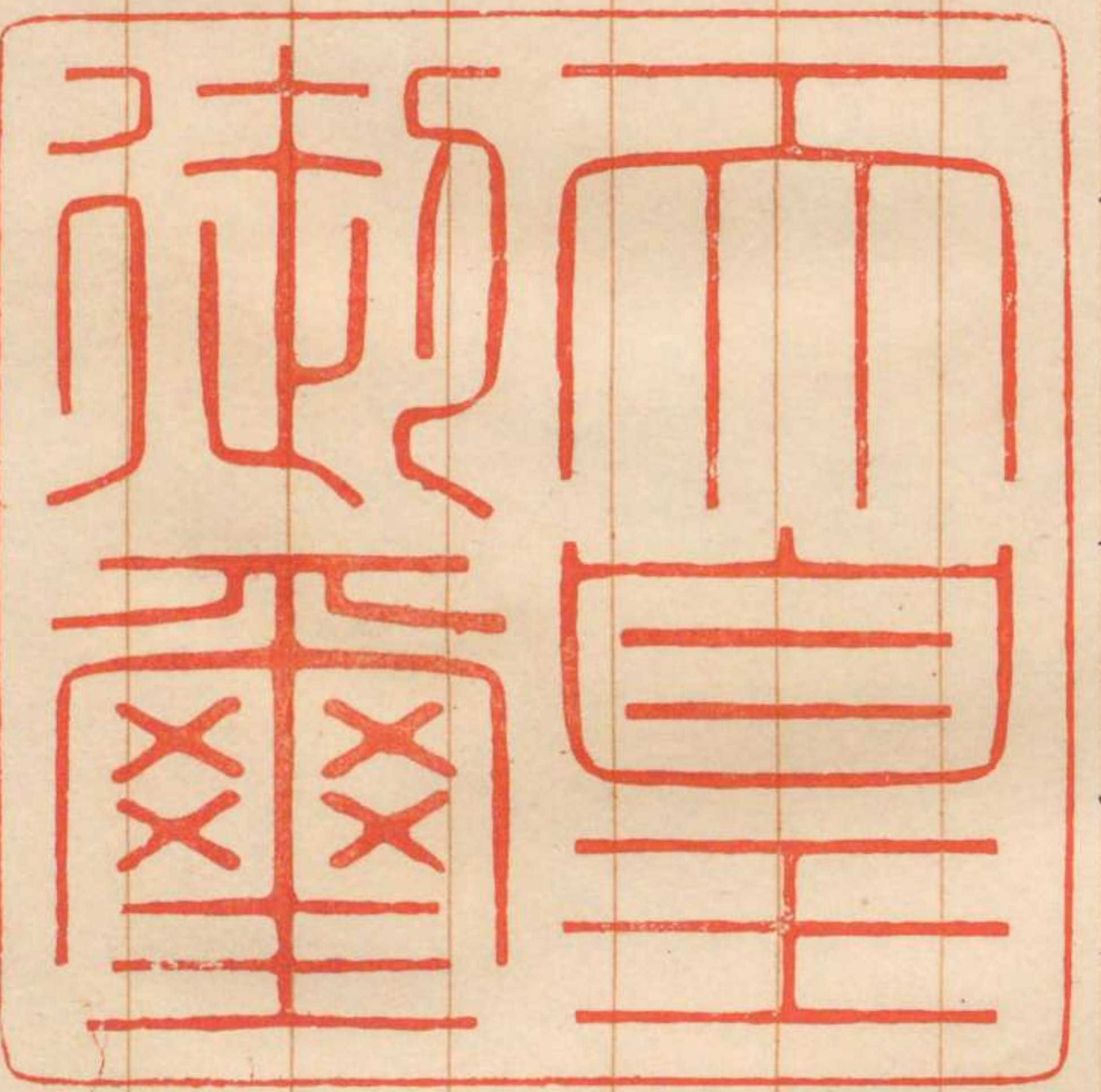
物居月十日





朕茲二判任官俸給令ヲ裁可ス

睦仁



明治二十四年七月二十四日

内閣總理大臣伯爵松方正義

日

勅令第八十三號

判任官俸給令

第一條 判任文官ノ月俸ヲ別テ十級トシ別表ニ依リ毎月下旬ニ於テ之ヲ支給ス

第二條 陸海軍准士官下士ノ月俸ハ別ニ定ムル所ニ依ル其他特ニ定ムルモノハ前條ノ限ニアラス

第三條 判任官ハ每級在職一年以上ニ至ラサレハ増給スルコトヲ得ス

第四條 判任官最上級俸ヲ受ケ五年ヲ
踰ヘ事務練熟優等ナル者ハ特別ヲ以
テ別表ノ範圍ニ拘ラス漸次七十五圓マ
テ増俸スルコトアルヘシ

第五條 官ニ在リテ死亡シタル者ハ月
俸三箇月分ヲ其遺族ニ給ス非職者ニ
於テモ亦同シ

第六條 前條ノ外俸給支給ニ關シテハ
高等官任命及俸給令第十三條第十
四條第十五條第十六條第十七條ノ例

ニ依ル

第七條 俸給スル細則ハ大蔵
大臣省令ヲ以テ定ム

附則

第八條 本令ハ明治十四年八月十六
日ヨリ施行ス

明治十九年勅令第三十六號判任官
官等俸給令ハ本令施行ノ日ヨリ廢止
ス



第四條 判任官最上級俸ヲ受ケ五年ヲ
踰ヘ事務練熟優等ナル者ハ特別ヲ以
テ別表ノ範圍ニ拘ラス漸次七十五圓マ
テ増俸スル
第五條 官ニ於テ死亡シタル者ハ月
俸三箇月分
於テモ亦同
第六條 前條 外俸給支給ニ關シテハ
高等官任令
給令第十三條第十
四條第
六條第十七條ノ例



ニ依ル
第七條 俸給支給ニ關スル細則ハ大蔵
大臣省令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

第八條 本令ハ明治二十四年八月十六
日ヨリ施行ス
明治十九年勅令第三十六號判任官
官等俸給令ハ本令施行ノ日ヨリ廢止
ス

別表

一級	六十圓	三級	四十五圓	五級	三十五圓	七級	二十五圓	九級	十五圓
二級	五十圓	四級	四十圓	六級	三十圓	八級	二十圓	十級	十二圓

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

